

10歳代後半から20歳代前半の binge drinking

- 世界的な問題
- 急性アルコール中毒による死亡等
- 社会的問題
 - 1) 暴力・暴言
 - 2) 交通事故
 - 3) レイプ
 - 4) その他の問題行動
- 依存の形成

2008年3月～2009年3月の間 にイッキ飲みで死亡した 大学生は5名

◆大学の厚生施設で合宿中に行なわれた執行部引き継ぎ儀式

午後10時ごろ、先輩の3年生男女8人が、2年生男子13人を一列に並べ、ペットボトル4リットルの焼酎の回し飲みを指示した。ひと回りしても飲みきれなかった残りの約500ミリリットルを飲み干した2年生(20歳)が、気分が悪くなって意識を失ったが、翌朝まで放置に近い状態だった。午前7時半頃、非常に大きないびきをかくなど様子がおかしいため、病院に運ぼうと軽自動車のリアシートに運び入れた際、呼吸が弱くなりやっと119番。病院に運ばれたが手遅れだった。死因は急性アルコール中毒を遠因とする吐瀉物による窒息。

◆キャンパス内の学生寮で行なわれた「新入生歓迎対面コンパ」

午後8時から、2年生4人、1年生8人が参加して「対面コンパ」が始まった。コンパでは、原則、1年生が1人ずつ自己紹介などで1時間程度話し、その間、酒を飲むことが求められた。1年生(18歳)が意識朦朧となり自室へ運ばれたが、翌朝7時20分ごろ呼吸停止の状態で見つかり、搬送先の病院で死亡が確認された。大学は、他のブロックから参加し飲酒を強要した2年の男子学生を退学、コンパに参加するなどした4人を無期停学、11人を訓告処分とした。

◆大学の合宿所で行なわれた壮行会

午後1時半ごろから、学生30人が鍋を食べながらテキーラなどの強い酒を速いペースで飲んでいった。30分後、2年生(20歳)の気分が悪くなり、隣の部屋で寝た。午後10時半ごろ、ほかの学生が様子を見に行ったところ、意識を失っており、病院に搬送。すでに心肺停止の状態だった。

◆大学の合宿所で行なわれたサークルの卒業祝いコンパ

午後7時からコンパが始まり、男子8人と女子21人(うち1年生は10人)で、ビールや焼酎、チューハイ、ジュースなどを飲んだ。10時ごろにゲームを始め、負けた者が酒を数回飲んだ。翌午前0時ごろ、1年生(19歳)が酔いつぶれて吐いたため、布団に寝かせた。午前9時過ぎ、布団の中でぐったりしているのをほかの学生が発見、吐いたものが口の周りにあったため、3人で近くのトイレまで担ぎ、洗い流そうとしたが、呼吸をしていなかった。